

いっしょに Parents, Teachers and Students
育てていきたいから。

保護者、教員、そして生徒が紡ぐ



「空即是式」 PTA広報委員長 滝沢 修

広報活動を通じて、生徒達や保護者様へ学校生活のひとこま、ひとこまを伝えてきました。生徒達には、その思い出を胸に、一高生としての自覚を持って夢ある未来へ躍進して行くことを望みます。また、次期役員様方にも、生徒達の良い思い出づくりに貢献していただけるよう切に願います。



●自校の生徒だけでなく高校生全般に対して、挨拶やマナーの向上などと呼びかける運動が今年度は年5回行われ、多くのPTA役員の皆様にもご参加いただきました。(写真は11月13日)



●11月22日(金)、2学年の保護者を対象に進路研修会が行われました。大手予備校の講師の説明を多くの保護者が熱心に聴いていました。



●7月15日(月・海の日)、YCC県民文化ホールにて、中学3年生と保護者を対象に学校説明会が行われました。生徒自身による学校紹介、吹奏楽部、アカペラ部、弦楽部の演奏、ダンス部に演技などとても好評でした。PTAの方にも受付・案内業務などご参加いただきました。

SSRC DOORプロジェクト
～探究科の活動の紹介～



今年度、探究科4期生が入学し、その探究活動も全国規模の活動として、さらに広く展開されています。



プレゼンチャム(1年)



一探未来フォーラム



VFKとの協力活動(グローバル探究)



先端企業見学(理化学研究所 和光市)



日本生活科・総合的学習教育学会での発表



セブ島への研修旅行(ラプラス像の前で)

令和元年度 主なPTA活動

- 学校PTA総会:4/26
- PTA専門委員会(強行遠足・広報):5/14・7/18・2/5・2/14
- 県高P連定期総会(県立文学館):5/17
- 進路研修会:4/27(3年)・11/22(2年)・5/30(1年)
- マナーアップ運動:5/15・6/19・9/18・11/13・1/15
- 関東高P連大会(埼玉):7/12~13
- 一高説明会(YCC県民文化ホール):7/15
- 全国高P連大会(京都):8/22~23
- 強行遠足協力者合同会議:10/2
- PTAだより発行:7/24・3/1
- 3学年PTA委員会:2/14

PTA広報委員(編集担当)

- 山口 智子
- 黒澤 理恵
- 篠原 康代
- 横倉みさ子
- 日原やよい



<http://www.first.kai.ed.jp/>

一高ホームページは、保護者向けのサイトも充実!!
保護者向けに発行している便りは、学校ホームページでも閲覧できます。
学校行事や生徒会活動、トピックスなどの情報が盛りだくさん!!
ぜひご覧ください。一高の「今」を実感していただけます。

携帯電話からは、右のQRコードよりアクセス!!



甲府第一高等学校PTAだより We are KOFU FIRST HIGH SCHOOL. 2020 March

発行◎山梨県立甲府第一高等学校PTA
〒400-0007 山梨県甲府市美咲2丁目13-44 tel.055-253-3525 fax.055-253-3527
発行日◎令和2年3月1日
編集◎山梨県立甲府第一高等学校PTA広報委員・総務広報係

甲府第一高等学校 PTAだより
We are KOFU FIRST HIGH SCHOOL.

2020 March
KOFU FIRST High School
PTA Profile Paper vol.20
山梨県立甲府第一高等学校PTA



一高 ONE TEAM

いまをともに～その先へ～



一高愛と繋ぐこと



PTA会長
笠井 和人

私は県外出身で、一高の卒業生ではありません。しかし「一高を愛する思い」は、卒業された先輩方、そして皆さんと同じだと自信を持って言えます。一高に脈々と引き継がれている伝統、そのDNAを確実に引き継いでいる「一高愛」はみんなの姿からひしひしと感じられて、それが大変魅力的で大好きでした。

昨年5月に年号が令和に変わり、一高創立140周年を翌年に控えた令和元年は一高にとっても大きな出来事がありました。台風による強行遠足の中止です。3年生にとっても、

強行遠足が培った絆



校長
小林俊一郎

令和元年の第93回強行遠足は台風19号の直撃により中止を余儀なくされたことは、本校生徒・PTAのみならず、甲府中学・甲府一高関係者にとっては残念な思い出となって、今後語られていくことだろう。しかし同時に、台風により甚大な被害を被った長野県東信地方(強行遠足でお世話になってきた小諸市・佐久市・佐久穂町)へ災害見舞金を届けた際に受けた最大級の謝辞は、私にとって忘れられないものとなった。「まさか、山梨県から、甲府第一高校の皆様から、わざわざ見舞い金を届けていただけたとは思っていませんでした。本当に心から感謝申し上げます。」という佐久穂町長の言葉と、瞬時に両手を差し出され強く手を握られたその仕草から、心の底から感謝されたことを体感し胸が熱くなった記憶は鮮明である。

「先生、僕たちに何かできませんか?義援金活動をしたいのですが…」という生徒の第一声と時を同じくして、同窓

保護者にとっても、同窓会の皆様にとっても、そして一高に関わる多くの人にとっても大きな出来事でした。そして私たちは決断しました。「やめる勇気」を持ち、「繋ぎ」ました。尊い決断だったと思います。この経験はこれからの人生において、色んな意味においても糧となったと確信しています。

最後になりますが、PTA活動にご協力いただきました保護者の皆様、先生方、そして同窓会役員の皆様に感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。

会からも「義援金を送りましょう。」という申し出をいただいたのが、長野県の台風被害のニュースを知って間もなくのことであった。これまで長い歴史を刻んできた甲府一高の強行遠足は、多くの長野県の方々の協力と支援のおかげで成立してきたことを、生徒も同窓生もよく理解している。

「僕は若い頃から甲府一高生が強行遠足で歩いている姿を見てきました。是非来年は長野へ来て下さい。来年もその後も、ずっと強行遠足に協力させていただきます。」小諸市長、佐久市長、佐久穂町長から異口同音の言葉である。

今回の第93回強行遠足の中止は、甲府一高強行遠足の歴史に刻まれるわけであるが、同窓会、生徒、PTA、教職員一同の義援金活動により、長野県の関係各所の人々との絆がこれまで以上に強いものとなったこの事実も、同時に語りつがれていこう。

令和元年度「第93回強行遠足」を中止に終えて 体育振興係主任 内藤 秀俊



令和元年10月12、13日に開催予定しておりました本校伝統行事である「第93回強行遠足」については、猛烈な台風19号の関東甲信直撃予報を受け、中止とさせて頂きました。

そして、台風19号は関東甲信を直撃し、長野県側強行遠足コースとなる千曲川沿いの佐久穂町、佐久市、小諸市に甚大な被害をもたらしました。

台風19号で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。また、復興にご尽力されている皆様には、安全にご留意されますことをお祈りいたします。一日も早く平穏な生活に戻れることを心より願っております。また、開催の準備については、多くの皆様の多大なるご理解、ご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。

さて、令和2年度の強行遠足について本年度同様「第93回強行遠足」として開催できるよう計画をしております。つきましては、本校伝統行事である強行遠足について、今後とも変わらぬご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●10月2日(水)に強行遠足協力者会議(全体会・分科会)が行われました。今年度も1200名近い保護者の皆様にお集まりいただき感謝申し上げます。残念ながら、強行遠足は中止になってしまいましたが、また来年度もご協力のほど、よろしくお願いいたします。



小諸市・佐久市・佐久穂町に台風19号のお見舞いに伺いました

11月18日、本校の強行遠足でお世話になっている、小諸市・佐久市・佐久穂町に学校長・生徒会主任が台風19号災害のお見舞いに伺い、同窓会・PTA・教職員・生徒からの義援金を贈呈して参りました。この義援金は、保護者の皆様よりいただいた強行遠足費の一部を充てさせていただいております。これに生徒・同窓会からの募金を加え、3市町に40万円ずつ贈呈してまいりました。この場をお借りして、ご協力下さった皆様に深く感謝申し上げます。



小諸市長
小泉俊博氏へ贈呈



佐久市長
柳田清二氏へ贈呈



佐久穂町長
佐々木勝氏へ贈呈

We are KOFU FIRST HIGH SCHOOL

100年を超える伝統の継承のために

PTA強行遠足委員長 上矢 敏幸

令和がスタートして最初の強行遠足は台風19号の影響で残念ながら中止となりました。甲府一高の強行遠足は1924年に第1回を開催してから現在まで続いている伝統ある行事であると、強行遠足の実施・中止判定会議にて校長先生よりお話を伺いました。

100年続けるというとはどのくらい大変なことなのでしょう?会社に例えると100年を超えて現存している企業は山梨県内に12社しかないそうです。そのような偉業を甲府一高の強行遠足はあと数年で達成しようとしています。「続けていくための強行遠足中止」その決断を生徒の皆様がそれぞれの胸の中で整理して、強行遠足を走的过程中で感じられたであろう「限界の中での気づき」以上のものを得ることが出来たら嬉しく思います。そして甲府一高の強行遠足が100年を超えて永遠に続いていくことを願っています。

歴史を繋ぐ

2年強行遠足委員代表 加藤 寿之

一年生は初めての強行遠足に期待と不安を胸に、二年生は今年の自分の記録を更新するべく、三年生は一高生として最後の思い出を記録しようと、全校の生徒たちが台風情報を恨めしく見ていたことでしょうか。そんな個々の想いなど吹き飛ばすように荒れ狂った台風は、生徒たちに「被災地への思い」と同時に、温かい声援を送ってくださった長野県の人々への感謝の心を再認識させてくれました。

「令和」に元号が変わり最初の強行遠足は中止となりましたが、来年度も「令和最初」の「第93回」強行遠足が計画されます。歴史を繋ぐという言葉の意味を実感する貴重な体験となったことでしょうか。

来年こそは、きっと…

PTA女性部長 菊原 千春

懐中電灯の明かりだけを頼りに、真っ暗な中、走ってくる生徒達に感動し、もう一度あの感動を味わいたいと3年間女性部を務めさせていただきました。残念ながら最後の強行遠足は、史上最大級の台風上陸により中止。しかし、あの甚大な被害を見ると中止という決断は間違っていなかったと生徒、保護者、そしてOBなどすべての関係者が感じているでしょう。「おいしい〜」「ごちそうさま」と言って次の検印所に向かっていく姿は、どの生徒も強く逞しく感じました。来年は天気恵まれ、伝統のしみ汁を提供出来ることを望みます。微力でしたが、伝統ある強行遠足に携われたことに感謝いたします。



「ONE TEAM」で

総務広報主任 土屋 浩之

保護者の皆様方には、日ごろよりPTA活動へのご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。PTA総会・各専門委員会・学校説明会・マナーアップ運動等々へのご協力に感謝申し上げます。強行遠足については、多くの保護者の方々に事前から準備をいただいたにもかかわらず台風19号の上陸のため中止となり、本当に残念な思いです。強行遠足は今後も行われる本校最大の行事です。今後も多くの方々のご協力をお願いします。保護者の皆様と教職員で「ある知恵」を出し合いながら「ONE TEAM」となって生徒の成長を支えるのがPTA活動だと思います。これからも、そういった活動が続いていくことを願っています。1年間ありがとうございました。

(第69回 全国高P連京都大会 報告)

「Kyoから! 未来を拓く」 ~受け継ぎ、創る新たなストーリー~

PTA会長 笠井 和人

第69回全国高P連京都大会が8月22、23日に開催され、私は小林校長とともに参加いたしました。メインテーマの「Kyoから!」には、「京都の地から」「今日から」「協力して」「(家庭)教育から」等の思いが込められており、今大会では過去に開催された全国大会や各地域の様々な研修会で蓄えられた財産を今一度見つめ直し、子どもたちの健やかな未来を創るためには、これからどのように考え、何をすればよいかについて学び合いました。

記念講演では、企業経営者兼大学理事長である講師から学校教育、特に大学などの高等教育における課題の提起があり、その熱い語り引き込まれてしまいました。この大会に参加し、今日的課題に真摯に向き合っていることができ、今後のPTA活動に繋げていければと思います。

(第65回 関東地区高P連大会埼玉大会 報告)

「絆を深め、新しい時代を担う子どもたちを育てよう」 ~令和の夏、学び続けるPTAの熱い風が吹く~

PTA副会長 若月 栄治

昨年7月12日、13日の2日間、『絆を深め、新しい時代を担う子どもたちを育てよう』~令和の夏、学び続けるPTAの熱い風が吹く~をメインテーマに第65回関東地区高等学校PTA連合会大会埼玉大会が大宮ソニックシティにて開催されました。当校からは教頭先生と役員2名で参加いたしました。

12日の全体大会の記念講演は、タレントの向井亜紀氏でした。『夢が生きる力になる』をテーマに、ご自身の経験をもとに、夢を持つことの大切さを再認識することが出来ました。2日目の分科会での発表も大いに学ぶことができ、素晴らしい大会でした。

